

当局、大衆団交(学苑会議)を拒否す。●

6.23在加藤・小堀理事
徹夜団交を貫徹する。

進じしきづける当局を追撃せんとする全ての学友諸君。●
昨年、一意的かつ不當なる尊貴値上げの決定後、全員ロックアウトを日本
郵便局の後追い下駄なり、あきつさえ値上げ反対の声を震ひで反対し、
権力へ況むもの学友を走り廻した当局が、我々の前にあらわれた。こう
じとの態度は居直りと進むであつた。

6月23日9時より学生部室にて、学苑会議と加藤・小堀理事の面交を行なわれ、24日7時半までの徹夜団交をもたらした
れた。昨年6月27日団交より一切の学生との話し合いを拒否している当
局に対する、植綱団交の要求であった。壁内には虫食屋、クラス員20
数名が加藤・小堀・理事会の値直りとその犯罪性を厳しく抗議し、
団交を拒んでいたが当局は学生との話し合いをなたくるに拒否した。

この間の一切の責任は大學当局にある。

当局は学苑会議、クラスからの団交要求をこの面みたくらに拒否し続け
た。我々学生は昨年來当局の行なった『団交拒否』、38名通り渡り、口々
クアート、値上げ進行等行為に対しての抗議も含め話しと東北競争と
して反対してきた。当局は『暴力破壊行為』といふ一連の行為を全
て学生側に押しつけ、その原因となった当局自身の責任と学生へ壓迫し
それを理由として話し合いを拒否しているのだ。想不思議なのは、値
上げ執行に際し、当局は『學生を払う人間に學生』に話しとの理由を説
明しようとしたタ!? 一度さらさらた! やった事は学生を裏方に押すに
圧しただけだ!

学友諸君、事の本質を覺悟よう。当局は言う「大學の自尊を守る
事…」と。しかし、大學が資本主義社会に存在する限り、「教育、学園、
研究の自由」などは一切の幻想でござらない。そこにあるのは、差別選
別、右派競争を通じた資本へ奉仕するものでござるいのに。

『話し合いの場所に権力と対等なものの行為は正当化される。それ
ではないの?』
おなじく此がされるのは常に大勢からだりである。『民主的ポーズ』を
表すた当局の発言は学生に対する右派策動である。資本家の利害を頂う当

局の行なうことは学生への徹底した管理支配だつである。あきつさえ自
治会に対し、学生の尊厳を取扱はれてはいけなければ正常に自治機能を果
たしていかない。という学生自尊に対する発言を行ない、これに由來の
前題条件であるとさえ言つてゐる。

当局には団交に対する条件を出すことはありもしないめた。必要である
のは自己批判だけだ。

クラス・サークルよりの団交要求決議をとり当局を引き出そう。●

我々の多くは勤務学生としての立場から嘗て値上げ一部改定に対する
抗議を実現してきました。看板に表る資本の抑止支配とはねのびて、勞
働者人民の利害を任ばずく貪りを實現してきました。とりわけ丘部学生の存
在である丘部刑廃止に対する抗議は、前に『丘部がなくなるやういへだ
』というだけでなく、当局の資本に対する奉仕、社会一資本制一を必要と
する丘部刑一政令の再編一に対する抗議として実現しなければならぬ
。

現在的に看板でじたり丘部学生一勤務学生という立場を含めた討論
を実現しよう。盛場・学園の尊厳を我々の才能として討論しよう。

現在進行している『11.14学生被監らと連帯し、公私内外に加藤・
理事会長、小堀純友学長を引き出そう。』

丘部刑廃止を実現を貰ち取ろうではありませぬか? 用ひん!

ースティミュールー

6月25日㈬ 7時 学館黙夜に向けた実行委員会(原) 公議 場: 学苑会室

27日 " " "

28日㈮ 15時 学館実力解放施設起集会 フ各議会

29日 " " "

7月10日㈯ 11時 午前2回公判 東京地方法院前 701法廷

27日 " " " 13時回公判 703法廷

丘部明大/連 (記念1号)
政之研部室